

平成26年度 出資団体監査の結果（指摘事項）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社ディア四日市
商工農水部商業労働課（出資に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 平成27年1月14日
- 4 監査結果報告 平成27年3月31日

監査の結果（指摘事項）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社ディア四日市】

<p>(1) 領収証の発行について 株式会社ディア四日市経理規程第20条で定められている領収証への一連の番号が付されていなかった。不備のない適切な事務処理を行うこと。</p>	<p>【措置済】 平成26年12月2日 回数券の窓口販売用複写式領収書に連番を付していなかったもの。事前調査の折にご指摘をいただいたので、当日中に連番を付し、以後徹底している。</p>
---	--

【商業労働課】

特になし

平成26年度 出資団体監査の結果（意見）に基づく措置状況等の報告

- | | |
|----------|---|
| 1 監査の種類 | 出資団体監査 |
| 2 監査対象 | 株式会社ディア四日市
商工農水部商業勤労課（出資に関する事務の所管所属） |
| 3 監査実施期間 | 平成27年1月14日 |
| 4 監査結果報告 | 平成27年3月31日 |

監査の結果（意見）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社ディア四日市】

(1) 中心市街地活性化に関する事業の具体化の再検討と経営努力について
当法人は「街づくり会社」として設立されたが、本来の主要な目的である中心市街地活性化に関する調査研究やイベントの企画運営、商店街活性化を支援するためのコミュニティ施設の運営などの事業が放置されている。ジャスコA館跡地の再開発事業や四日市公害と環境未来館の開館など中心市街地を取り巻く環境変化も踏まえ、街づくりのための事業の具体化に向けた再検討を行うこと。また、駐車場について、市外・県外からの利用者の構成を把握して分析しPR方策を工夫するなど、経営努力を図ること。さらに、このまま駐車場のみの事業形態を続けざるを得ないとするのならば、早期に運営組織の簡素化、管理に係る人員の半減を図ること。

【改善事項】

【 継続努力 】 平成27年 9月30日

中心市街地活性化に係る事業やコミュニティ施設の運営等の事業については、駐車場建設の際に整備した待合室がコミュニティ施設として位置付けられているほか、弊社の設立後数年間は市の支援を受けて調査事業等を実施してきたが、確たる成果が出ず、現在は停滞している。これまで様々な計画が提示されたが、それらを具現化する関係者の総意が得られなかったことや、投資家が現れなかったこと等から、実現に至らなかった。また、商店街関係者が高齢化や業容不振等により減少するとともに、夜型飲食やサービス業の集積が高まってきており、中心市街地の商店街は、従来の広域商圈を持つ買回り品小売販売業の集積地ではなくなっている。

このような環境変化のため、商店街とともに中心市街地を活性化させるという目指すべき理念は不変ではあるが、取り組むべき事業が異なっている。従って、弊社が街づくり会社としてリーダーシップを発揮する必要に迫られており、環境変化に対応した適切な街づくりの方向を試行錯誤しながら、可能な範囲で努力（投資）を積み重ねていく。

なお、弊社は当初の建設資金借入金について条件変更を行っており、債権者である県からは、借入金償還の優先を求められている。そのため、当面は弊社の財務面の健全化が最優先課題であり、その後に安定的に中心市街地に投資していける体制づくりを行うことが目標である。

組織形態の改善については、サービス低下につながる恐れがないのであれば、人員数の削減等見直しを行う必要があると考えており、1人当たりの生産性の向上についても常に意識をしているが、引き続き改善を進めていく。

また、駐車場の利用促進を図るため、広告媒体の工夫や精算時のクレジットカード利用などの検討に努めてまいりたい。

	<p>【 継続努力 】 平成28年 3月31日 中心市街地活性化に係る事業やコミュニティ施設の運営等の事業については、大四日市まつりのほか、当駐車場の上にあるくすのき並木及び近鉄四日市駅東口で実施されている「イルミネーション」に協賛し、中心市街地の活性化による賑わい創出に協力しており、また駐車場建設の際に整備したコミュニティ施設として位置付けられている待合室については、リニューアルを実施し、快適に利用できる環境の整備を実施した。 駐車場の利用促進を図る方策については、市外・県外等からの利用者への情報発信のため、ホームページを改修し、中心市街地におけるイベントの案内など、当駐車場の利用促進につながる情報を提供している。 また、精算機を更新し、平成28年4月から精算時にクレジットカードが利用できるようにした。</p>
<p>(2) 異常な組織形態の解消について 社長 - 副社長 - 専務 - 事業部長 - 場長 - 事業課員と5名の上司が1人の課員の業務を管理する異常な組織形態となっている。中心市街地活性化事業に専務と場長を異動配置するなど、重複管理の解消・組織の簡素化・人件費の見直しを行って経営の健全化を図ること。 【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 人員体制図は臨時職員を除いたものである。他に20名弱の駐車場管理員や委託先管理員がおり、事業部の場長が管理監督を行っていることから、組織形態は適切であると考えている。いただいたご意見は、今後の参考にしていきたい。</p> <p>【 措置済 】 平成28年 3月31日 組織は総務部及び事業部に分かれており、総務部において経理業務を、事業部において駐車場等管理業務を所掌している。また、人員体制図は臨時職員を除いたものである。他に20名弱の駐車場管理員や委託先管理員がおり、事業部の場長が管理監督を行っていることから、組織形態は適切であると考えている。</p>
<p>(3) 累積損失の解消について 当法人は累損会社であり、大借金会社であることを再認識して、収益拡大や組織改革など徹底した利益確保に努めること。特に、巨額の借入金は無利息の過保護状態であり、実力の利益は決算上利益の二分の一以下であることを再認識し、活動成果の倍増に取り組むこと。 【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 早期に累積損失を解消できるよう努力を進めているところであり、引き続き利益の確保に努めていく。</p> <p>【 継続努力 】 平成28年 3月31日 ホームページのリニューアル等の情報発信を積極的に行い、着実に利用台数を増やすよう努力している結果として、前年同月を上回る利用となっている。また、設備更新を行い、利用者の利便性向上を継続的に図っている。</p>

<p>(4) 収益増加について 駐車場経営においては、商店街との連携やイベントに合わせた効果的な広告宣伝により、日中の利用者の増加と、1台あたり滞留時間の増加を図ることで収益増加に取り組むこと。また、広告など工夫して駐車場以外にも収益源を見つけること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 引き続き努力していく。 収益増加の方法について、いただいたご意見は、今後の参考にしていきたい。</p>
	<p>【 継続努力 】 平成28年 3月31日 駐車場の利用促進を図る方策については、市外・県外等からの利用者への情報発信のため、ホームページを改修し、中心市街地におけるイベントの案内など、当駐車場の利用促進につながる情報を提供し、収益についても前年度より増加している。 また、精算機を更新し、平成28年4月から精算時にクレジットカードが利用できるようにした。駐車場以外の収益源については、引き続き検討していく。</p>
<p>(5) 業務委託の内部社員化での十分なコストメリットの見極めについて 前年比で業務委託費は428万円の減に対し、給料手当・賞与は488万円の増となっている。業務委託の内部化は、管理部門によるコスト改善などの事前検討を十分に行った後に実施すること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 外部委託から内部社員化への変更は、平成24年10月から国道駐車場管理者が民間企業に変わるために従前より柔軟に委託元の意向に沿えるよう体制整備を図ったもので、主に指揮命令系の改善を目指したものである。人件費増以上の委託料の減額や高齢者雇用補助金収入もあり、結果的に経営健全化の一助にはなったと考えているが、ご意見にもあるようにコストメリットの見極めは非常に重要と考えるので今後も努力していく。</p>
	<p>【 継続努力 】 平成28年 3月31日 職員の給与・賞与については、これまで低く抑えられてきた経緯もあり、人材確保の面からも世間相場に近づけていく過程にある。外部委託から内部社員化への変更は、平成24年10月から国道駐車場管理者が民間企業に変わるために従前より柔軟に委託元の意向に沿えるよう体制整備を図ったものであるが、今後についても、継続してコスト削減に努力していく。</p>

<p>(6) 資金運用の重視について 累損を抱える大借金会社である。経営全体を見直してどこを改善すべきかを「資金運用の面」からも、見極めていくこと。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 弊社の中長期計画では、当然のことながら損益と同時に資金収支も勘案しているものの、現在長期借入金を条件変更して返済している途上であり、資金収支上戦略的な投資を行うだけの資金余力が不足しているため、新規投資は設備減耗によりやむを得ないものから順次行っている。現状からは、新規投資が小さいことについて、ご指摘を受けることもやむを得ないと考えており、今後も努力を続けていく。</p>															
<p>平成25年度資金運用分析(例) (単位:百万円)</p>	<p>【 継続努力 】 平成28年 3月31日 長期借入金を条件変更して返済している途上であり、資金繰り等を勘案すると新たな資金運用を行う余裕があるとは言えないため、今後も改善していくよう努力を続けていく。</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>調 達</th> <th>使 途</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利益 42</td> <td>借入金返済 83</td> <td>借入返済比重が大きい</td> </tr> <tr> <td>減価償却費 54</td> <td>リース債務返済 12</td> <td>新規投資が小さく戦略性なし</td> </tr> <tr> <td>運資減 11</td> <td>設備投資 13</td> <td>利益額がまだ小さい</td> </tr> <tr> <td>計(A) 107</td> <td>計(B) 108</td> <td>(A)-(B) 現預金減 1</td> </tr> </tbody> </table>	調 達	使 途	摘 要	利益 42	借入金返済 83	借入返済比重が大きい	減価償却費 54	リース債務返済 12	新規投資が小さく戦略性なし	運資減 11	設備投資 13	利益額がまだ小さい	計(A) 107	計(B) 108	(A)-(B) 現預金減 1	
調 達	使 途	摘 要														
利益 42	借入金返済 83	借入返済比重が大きい														
減価償却費 54	リース債務返済 12	新規投資が小さく戦略性なし														
運資減 11	設備投資 13	利益額がまだ小さい														
計(A) 107	計(B) 108	(A)-(B) 現預金減 1														

【商業勤労課】

<p>(1) 当法人の経営に対する指導監督について 街づくりのために設立した会社であることを再認識し、取締役会において各取締役からも発言を求めて、当法人がその設立目的である街づくり事業に取り組めるよう、積極的に実現に向けた方向付けをすること。また、中心市街地の魅力向上について市として取り組むこと。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成27年 9月30日 当法人が街づくり事業に取り組めるよう、指導・助言等を行っていく。また、中心市街地の魅力向上については、現在デジタル・サイネージの設置に取り組んでいるほか、更なる活性化方策について模索しているところであり、今後も関係者と協議を進めていく。</p>
	<p>【 措置済 】 平成28年 3月31日 当法人が街づくり事業に取り組めるよう、指導・助言等を行っていく。また、平成28年3月にデジタル・サイネージを市民窓口サービスセンター及びふれあいモールに設置し、イベント情報等を積極的に発信し、中心市街地の活性化及び賑わい創出を図っている。</p>